

一年のうちで一番寒い2月、皆様、元気にお過ごしでしょうか。こんな寒い中でも子どもたちは、それぞれのステップアップのためにがんばっていることでしょう。

子どもの“がんばる力”の源は、なんと言っても家族の笑顔です。さあ、今日も「にっこり」を忘れずに！



1 生活の中の「思いやり」を考えてみましょう。

成長とは、毎日の「ちょっとしたこと」の積み重ねであると言えます。その中で、周りへの気遣いができて、言動がきちんとしていいると、どこに行っても人とより良く関わっていけるでしょう。そのために、家庭でどんなことを意識したら良いか、考えてみましょう。

自分の立てる音に気をつける

歩く音、ドアを閉める音など自分で立てている音は気にならない。だからこそ、自分がどんな音を立てているか、気をつけてみましょう。

ものを受けとる・わたすときは丁寧に

向きを相手に合わせる、「熱いから気をつけて」と言葉をそえる、両手で受けとるなどちょっとしたことで相手を大切に思っていることが伝わります。

だれのためのものなのかを、想像する

点字ブロック、だれでもトイレ、スロープなど、だれのためのものか考えると、自分がどうすればいいか、分かってきますよ。

傘をさすときの気配りは？

歩きながら傘を開いていませんか、傘は肩にかけないでまっすぐ持っていますか、閉じた傘は下に向けて持っていますか、自分がどうしているか思い出してみましょう。

この使い方やってない？ ～おはし～



- よせばし → おはしで器をひきよせること
- つきばし → お芋などにおはしをつきさすこと
- まよいばし → おはしを食べ物の上でうろうろさせること
- わたしばし → 食べている途中に、器の上におはしをのせること

2 子どもたちの未来へ残すもの

子どもたちは、いろいろな観点から「SDGs」について学んでいます。最近では、テレビで取り上げられることも多くなってきました。さらには、店で売られている商品や、サービスの中にも「SDGs」は浸透しています。そこで今回は、17個の開発目標からいくつかをご紹介します。

2 「飢餓を0に」

給食だけが唯一の食事だという子どもがいる。特に宮崎県は多いので、子ども食堂の取り組みは重要。



6 安全な水とトイレを世界中に

災害関連死の原因に、トイレを使えないために、水を飲まなくなり、体調が悪くなることがあげられる。

8 働きがいも経済成長も

カカオなどの原料は、児童労働で収穫されている現状がある。幼い頃から学ぶこともできず、読み書きもできないまま大人になってしまう。

13 気候変動に具体的な対策を

これまでにない大雨・台風・大雪が発生する。また、凍土の中に眠っていたウイルスが表面に出てくる。

大切な子どもたちに、より良い環境を残してあげたいですね。たまには、親子でこうした話をするのも、充実した時間になると思います。

～ あとがき ～

お正月、姉妹家族と食事をしていたときのことで。甥っ子がお菓子を手に、「これは、偉いチョコなんだよ。」と言うのです。「偉いって、何のこと？」と不思議そうな顔をしていると、甥っ子は説明してくれました。

「この会社の人、チョコレートの材料のカカオを収穫しているのが、小さい子どもたちだと知って、すごく驚いたんだって。それからすぐに、会社で作っているチョコレートの材料を、子どもたちが犠牲にならずに収穫されているカカオに切り替えていってるんだって。」



はあ、それは確かに“偉い”。利益だけでなく、きちんと考えられて作られていたんだなあ。ただただ、美味しいわ～。もっと安くで売ってくんないかしら～、などと、浅はかにつぶやいていた私は思いが足りませんでした・・・と、甥っ子の顔を見ながら考えた元日でした。

今回のオススメ絵本は、「ぼくがラーメンたべてるとき」著：長谷川義史です。